

2026 年度 前期入学(4 月)

広島女学院大学大学院 学生募集要項

言語文化研究科 修士課程

海外在住外国人特別入試

(秋季・春季募集)

【本学所定出願書類】(以下の書類は、別途ダウンロードしてください。)

入学志願票(A 票)

整理票(B 票)・受験票(C 票)

研究計画書

出願資格審査調書(該当者のみ)

履歴書

I. 言語文化研究科の趣旨と特色

《趣旨》

広島女学院は、キリスト教精神にもとづいた教育によって、豊かな人間性と協調性を兼ね備えた、国際感覚を身につけた有為な女性の育成につとめています。その成果は国内外において広く認められており、なかでも英語を中心とした言語教育は世間の注目を集めております。大学院言語文化研究科は、長年にわたるこのような教育成果の蓄積のうえにたって、より高度なレベルの専門的学識と研究能力を涵養することを教育の目的とします。

本研究科では、言語そのものと言語を基底とした文化現象を総合的に考究することを主たる目標としています。そのような研究・教育を行うことによって、学術研究の方法を身につけた高度の専門的職業人を育成することを目指します。固有の分野の基礎をなす文献研究、すなわち原典の精緻な読解・把握と先行する研究の批判的検証によって、専門分野の研究の基礎を強固なものにし、高度の専門的職業人となることができるようにカリキュラムが組まれています。加えて、学問の発展・進歩に対応できるよう、総合的で学際的なアプローチを取り入れて、固有分野における洞察力の深化を確保するとともに、専門分野を超えた柔軟な発想を促します。

《特色》

- 1) 昼夜開講 ・ 社会人の受け入れ（18：00以降の授業のみで2年間で必要単位が取得可能）
- 2) 男女共学 ・ 留学生の受け入れ

言語文化研究科修士課程には、日本言語文化専攻と英米言語文化専攻の2つの専攻があります。本課程を修了した人には修士（文学）の学位が与えられます。

本課程では、各種の教育機関や研究所などにおいて様々な問題に対応できる学術的な知識と能力を持ち、加えて国際的な視野を持った人物を養成します。

〈日本言語文化専攻〉

本専攻は、日本文学、日本語学、国語教育、日本語教育の4分野をもって構成され、各分野の研究と教育の深化を図ることによって、日本の言語文化の特質を明らかにし、国際化時代・高度情報化時代のニーズに応えられる高度な専門的職業人を育成します。

日本文学分野に関する科目は、古代、中世、近世、近代、現代と広範な時代領域に亘って設けられており、それぞれの時代の文学ジャンルの特質と変化を深く理解することによって、日本文化の本質について考究します。

日本語学分野に関する科目は、各時代の言語研究を行う能力を身につけるための科目が設けられ、訓点、方言、日本語教育など多様な分野の日本語研究を、音韻、文法、文字といった様々な観点から考究します。

国語教育分野に関する科目は、国語教育に関する内容を専門的に考究し、高度な専門的職業人としての国語科教員を育成することを目的とした授業内容とします。

日本語教育分野に関する科目は、日本語教育に関する内容を専門的に考究し、高度な専門的職業人としての日本語科教員を育成することを目的とした授業内容とします。

〈英米言語文化専攻〉

本専攻は、イギリス文学、アメリカ文学、英語学、英語教育学の4分野からなり、いずれもテキストの徹底的な読解力養成と専門知識の獲得をその基礎におきます。

イギリス文学分野では、英文学史上一時期を画した詩人、小説家、戯曲家などを取り上げて文学研究

の方法論や批評論を参考にしつつ、その生成と特性を解明します。

アメリカ文学分野では、19 世紀以降 20 世紀の小説研究を中心におき、現実の社会や文化とのかかわりを考察します。

英語学分野では、従来の文献学的研究方法から現在の新しい言語学の諸方法に至る歴史を視野において、言語を対象とした研究方法の基本的なあり方を実践的に考察します。特に現代英語の研究に重点を置きます。

英語教育学分野では、英語教育に関する主要な理論的研究あるいは実証的研究を概観するとともに、身近な教育環境の中から個別の事象を抽出し、定量的及び定性的な観点から考察を加えます。特に、第 2 言語習得過程、教師・生徒間の相互作用、英語教師の成長過程などの諸問題を取り上げます。

Ⅱ．アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)

教育・研究目標

言語文化研究科修士課程では、言語そのものと言語を基底とした文化現象を総合的に考究し、その活動を通じ培った、言語文化に対する高度な分析力をもって、多文化理解の推進に貢献できる研究者、教員、高度の専門的職業人を育成することを、教育・研究の主たる目標としています。

求める学生像

言語文化研究科修士課程の教育・研究目標を達成する資質を備えた学生として、日本言語文化専攻は、「日本の言語や文化の成り立ち、動態などに関する基礎知識に加え、これを考究するための研究目標、研究意欲を有する人」を求めています。英米言語文化専攻は「英語学分野では、言語の専門的な研究方法を考察し、イギリス文学分野では、詩、演劇、小説等、アメリカ文学分野では、20 世紀の小説を中心に研究し、英語教育分野では、外国語教授法、第 2 言語習得などを研究する人」を求めています。また、いずれの専攻も「将来、国際社会、地域社会において研究者、教員、高度の専門的職業人として活躍することを志す人」を求めています。

選抜方法

言語文化研究科修士課程は、本研究科の教育・研究目標を達成する資質を備えた学生を選抜するために、入学試験において各専攻で必要とされる能力を問う筆記試験、口述試験等を課しています。また、一般入試のほか、外国人留学生特別入試、海外在住外国人特別入試、社会人特別入試を設け、留学生や社会人にも広く門戸を開いています。

海外在住外国人特別入試**募集要項(言語文化研究科修士課程)****1 募集人員(2026 年度 前期入学(4 月))**

言語文化研究科	日本語文化専攻	若干名
	英米言語文化専攻	若干名

(男女共学)

2 試験日・実施方法

秋季募集：2025 年 9 月 29 日（月）～10 月 4 日（土）の間で調整

春季募集：2026 年 2 月 24 日（火）～2 月 28 日（土）の間で調整

Web 会議システム「Zoom」等を使用して行います。

*試験時間は受験票送付時に連絡します。

3 試験方法

試験方法・内容		配点	合計
書類審査	出願書類一式	25 点	100 点
口述試験 (30 分)	志望理由、卒業論文(卒業研究)等の研究概要、 入学後の研究計画、修了後の展望、日本語能力 等について	75 点	

4 受験上の注意事項

- ① 口述試験は Web 会議システム「Zoom」等を用いて行います。受験者は、「Zoom」等を利用できるパソコン等の機器およびインターネットに接続できる環境を準備してください。試験時に使用する機器に、あらかじめ Zoom 等のアプリをインストールしておいてください。なお、通信料等は受験者の自己負担となります。
- ② 事前に通信確認を行いますので、指示された時間に接続してください。
- ③ 口述試験は、第 3 者が入室しない明るく静かな環境で受験してください。
- ④ 口述試験の際は、受験番号を確認しますので、受験票を手元に準備してください。

5 出願資格

次の①～④のいずれかに該当する者で、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を有する者、または取得できる者

- ① 大学を卒業した者、及び 2026 年 3 月卒業見込の者
- ② 学位授与機構より学士の学位を取得した者、及び 2026 年 3 月取得見込の者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、及び 2026 年 3 月卒業見込の者
- *④ 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
*短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者などで本学の受験を希望する 22 歳以上の者は、出願資格審査を受けること。

6 出願資格審査(出願資格④の者のみ)

出願資格④により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行います。(1)の書類を提出する前に、審査を希望することを本学の入試・広報室へE-mailで連絡してください。その後、(1)に示した書類を(2)の期間内に提出してください。

(1)出願資格審査の書類

次の書類①②のPDFファイルをE-mailに添付して入試・広報室へ提出してください。

その際、E-mailの件名に「大学院出願資格審査の依頼」と明記してください。

① 出願資格審査調書(本学所定の様式:別途ダウンロード)

② 自著の研究論文(卒業論文等)、著書等(日本語、英語のいずれでもよい)

自著の研究論文、著書等がない場合は、研究希望課題についての論文とし、日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,600語程度とする。

(2)出願資格審査の書類提出期間と提出先

秋季募集:2025年8月4日(月)～8月29日(金)午後5時必着(日本時間)

春季募集:2026年1月5日(月)～1月23日(金)午後5時必着(日本時間)

入試・広報室 E-mail: nyushi@gaines.hju.ac.jp

(3)出願資格審査結果の通知

提出書類の受理後、約1週間後をめぐりに連絡します。

7 出願手続き

(1)指導教員との事前相談

出願前に指導教員との事前相談が必要です。本学のホームページ等から教員の研究内容を参照し、希望する専攻及び指導教員との事前相談について、入試・広報室へお問合せください。

(2)出願期間

秋季募集:2025年9月5日(金)～9月19日(金)午後5時必着(日本時間)

春季募集:2026年2月2日(月)～2月16日(月)午後5時必着(日本時間)

(3)出願先・問い合わせ先

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1

広島女学院大学 入試・広報室

TEL: +81-82-228-8365 E-mail: nyushi@gaines.hju.ac.jp

(4)出願書類

①	志願票A (本学所定の様式)	用紙欄外の〔記入上の注意事項〕をよく読み必要事項を黒ボールペンで記入してください(消せるペン不可)。
②	整理票B・受験票C (本学所定の様式)	用紙欄外の〔注意事項〕をよく読み必要事項を黒のボールペンで記入してください(消せるペン不可)。
③	卒業(見込み)証明書	在籍または出身大学が作成し、厳封したもの。

④	成績証明書	在籍または出身大学が作成し、厳封したもの。
⑤	研究計画書 (本学所定の様式)	本学指導教員との事前相談をふまえた、入学後の研究テーマ及び研究計画の概要を日本語 1,000 字程度で作成してください。 英米言語文化専攻については、英語(600 語程度)での記入も可とします。
⑥	身分証明書のコピー	本国または在日公館が発行する身分証明書(パスポート)は、記載のあるページを全てコピーしてください。
⑦	在留カードのコピー または住民票の写し	在留カードは、両面をコピーしてください。
⑧	履歴書	用紙欄外の「注意事項」をよく読み必要事項を黒のボールペンで記入してください(消せるペン不可)。
⑨	日本語能力を証明 する書類	次の a, b のいずれかの書類(コピー可)を提出してください。 a. 日本語能力試験(JLPT) N1 の認定結果及び成績に関する証明書 (公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金から発行)、またはそれに準ずる証明書 b. 日本留学試験(EJU)の受験票の写し (独立行政法人日本学生支援機構から発行) 日本留学試験の成績(日本語「読解・聴解・聴読解」)は、2024 年度及び 2025 年度実施のものを利用可能とする。
⑩	日本語教育機関の 成績証明書	「該当者のみ」 大学以外の日本語教育機関(日本語学校等)が作成、厳封したもの。

(5) 出願方法

出願書類一式を A4 サイズが入る封筒に入れ、Express Mail Service(EMS)で必ず出願期間内に到着するように郵送してください。

封筒には「大学院入学試験出願書類在中」と赤字で記載してください。

(6) 検定料

無料(海外在住者優遇措置による)

(7) 出願上の注意事項

- ① 一旦提出した出願書類は、いかなる事情があっても返還いたしません。
- ② 入学試験に合格した後であっても、出願書類の記載と異なる事実が判明した場合、入学を取り消すことがあります。
- ③ 受験票が試験 3 日前までに届かない場合は、入試・広報室へご連絡ください。
- ④ 身体に障がいのある志願者等、受験に際して要望がある方は、出願前にできるだけ早く入試・広報室までご連絡ください。

8 合格発表

秋季募集：2025 年 10 月 10 日（金）

春季募集：2026 年 3 月 10 日（火）

- ① 合格者には合格通知書を、不合格者には不合格通知書を Express Mail Service (EMS) で発送します。
- ② 電話等による可否の問合せには一切応じません。

9 入学手続

合格者には合格通知書と共に、入学手続に必要な書類を送付します。

募集	手続	納入期限	納入金の種類
秋季	1 次	2025 年 10 月 24 日（金）	入学金
	2 次	2025 年 12 月 11 日（木）	授業料・施設維持資金の 1 年次前期分
春季	一括	2026 年 3 月 25 日（水）	入学金 授業料・施設維持資金の 1 年次前期分

〔注意〕

＊期限内に納入のない場合は、無効となります。

＊一旦納入された納入金のうち、入学金はいかなる事由があっても返還いたしません。

学費等納入金内訳（2026年度）

区 分	納入区分		初年度 納入金額
	前期分	後期分	
入 学 金	250,000円	—	250,000円
授 業 料	150,000円	150,000円	300,000円
施設維持資金	130,000円	130,000円	260,000円
合 計	530,000円	280,000円	810,000円

＊入学後、実験実習費等実費を徴収することがあります。